

令和7年度 コスモストーク

“未来に向けた新たなチャレンジ
市民協働のまちづくり”



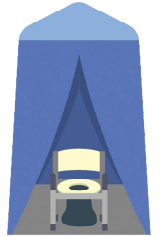
災害への備え



来たるべき時に備える

●企業等防災サポーター制度事業

備蓄物資の提供など、本市の防災・減災対策に積極的に協力する企業等を募り「企業等防災サポーター」として認定



協働による**防災・減災対策の充実・強化**を図る

●相生市防災リーダー育成補助金交付事業

防災士の資格取得に必要な「防災士研修講座」や県の「ひょうご防災リーダー講座」の受講料や教材費、防災士資格取得試験の受験料などを補助

地域の人材育成を促進し、**地域防災力の向上**を図る



带状疱疹ワクチン接種助成事業



今年度からワクチンの定期接種が開始されたことを受け、
带状疱疹の発症予防と経済的負担の軽減を図るため、
任意接種に係る費用の1 / 2を助成

【対 象 者】

**市内在住の50歳以上
で定期接種対象以外の方**



【助成金額】

●**生ワクチン(乾燥弱毒生水痘ワクチン)**

1回限り 上限 4,000円

●**不活化ワクチン(乾燥組換え带状疱疹ワクチン)**

2回限り 1回につき上限10,000円

高齢者の安全・安心

●地域乗合タクシー（ふれあい号）事業



- ・高齢者などの「交通弱者」を地域の有償ボランティアが市街地等の指定降車地まで送迎する。
- ・令和6・7年度のモデル事業として実施

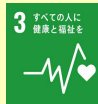
【対象地区】矢野地区・若狭野地区

【利用料金】1乗車200円

※町内利用の場合100円



●高齢者補聴器購入助成事業



聴力機能の低下によりコミュニケーションがとりにくい高齢者に補聴器購入費用の一部を助成

【対象者】65歳以上で、医師が必要と認めた方

【助成金額】2万円を上限として、1人1回限り助成

【所得要件】令和5年度から所得要件を撤廃



矢野小学校 小規模特認校へ



**令和8年度から、市内全域からの就学が可能となる
「小規模特認校制度」を導入し、特色を活かした少人数
教育を行うことで、複式学級の解消を図る。**

【制度開始までのスケジュール】

- R7年4月 児童募集チラシの配布
- 随時(秋頃まで) 矢野小学校説明会、オープンスクール等
- R7年10月頃～ 児童募集開始
- R8年4月 小規模特認校制度開始



※【若狭野小学校・相生小学校の計画】

- 若狭野小学校 → R8年4月から青葉台小学校と統合
- 相生小学校 → 協議継続中

教育施策の充実



●英検チャレンジ・バックアップ事業

- ・補助対象となる級を4級から5級以上に拡充
- ・年1回に限っていた検定受験料の半額補助を回数制限なしに拡充
- ・夏休み等に講師による英語対策講座を実施



●情報技術の人材育成事業

【対象者】市内小学校5・6年生

【相生っ子学び塾事業】

- ・新たに「プログラミング教室」を開設

【プログラミングチャレンジ事業】

- ・ジュニア プログラミング検定の講習を実施し、修了児童に3級検定受験料の1/2の額を助成



相生の給食が全国3位に！

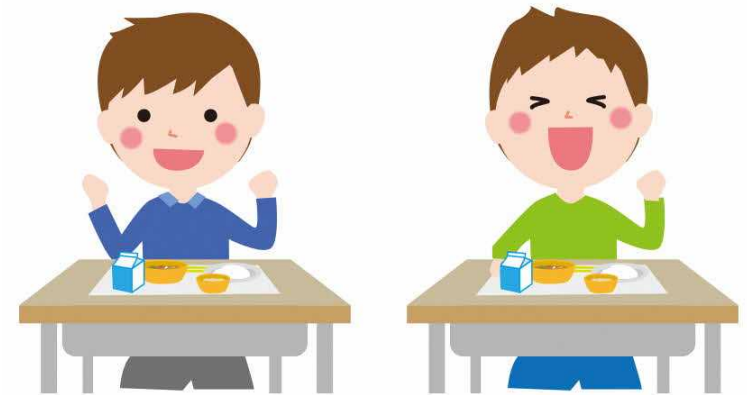
令和6年12月に行われた全国学校給食甲子園の決勝大会で、**相生市の給食メニューが全国1,051件の中から3位**にあたる「21世紀構想研究会特別賞」を受賞！



受賞した「まるまる満点献立」



大会に出場した双葉小学校の栄養教諭と給食員



看護専門学校 新校舎完成へ



令和8年4月 新校舎開校予定



- 鉄骨2階建て
- 延べ床面積 約2,500㎡

- スケジュール
- ・令和7年12月 建設工事竣工予定
 - ・令和8年 3月 移転作業
 - ・令和8年 4月 新校舎開校予定

出生率の5年平均で西播磨1位！

令和6年に厚生労働省が公表した「**合計特殊出生率**※」の平成30年～令和4年の5年平均値で、



相生市が

西播磨市町で**第1位！**
兵庫県下でも**第3位！**に

※合計特殊出生率
一人の女性が一生の間に生む子どもの数の指標

兵庫県下の市町		
	市町村	出生率※
1	明石市	1.63
2	朝来市	1.61
3	相生市	1.60
4	加東市	1.58
	...	
	太子町	1.45
	宍粟市	1.44
	佐用町	1.39
	たつの市	1.38
	赤穂市	1.34
	上郡町	1.08

相生市の明るい未来へ

地域エネルギー センター



山陽自動車道 スマートインター チェンジ



認定こども園



※写真はイメージです

これらの取組みを推進してまいります。

結 び に

我が国全体が人口減少局面を迎えた今、相生市にとっても非常に厳しい状況が続くと予測されます。そのような中であっても、持続可能な定住性の高いまちを未来の世代に引き継いでいくために、更なる努力が必要です。

今後、将来をしっかりと見据え、山積する諸課題の解決に精一杯取り組み、相生市の明るい未来を市民の皆様と切り開いてまいりたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

